

令和3年度がスタートしました

図書研修課課長の佐藤久です。新学期を迎えました。昨年度はコロナ禍のため思うような学校生活を送ることができませんでした。多くの生徒の皆さんに図書館を利用していただきました。今年度も引き続き、生徒の学習や探究活動、読書体験の充実に貢献できるように努力いたします。

今月は図書研修課の先生方から一言いただきました。1年間よろしくお願いします。

飯田先生から（国語・月曜日当番）

このところ短編ばかり読んでいっている気がする。それでも春になって読書欲が増加した。季節によって、天気によって、気分によって読みたい本が変わる。本は、今の自分を知るパートナーになる。

鈴木映司先生から（社会・木曜日当番）

「先の見えない時代」を脅威と捉えると後ずさりするが、チャンスと思えば前進していく先に未来が見える。しっかり見て、しっかり聞いて、しっかり読んで、「こんな未来を造りたい」という理想に向けて、ステップがイメージできれば成功は近い。「何もないと思えば何もない、何かあると思えば何かある。」図書館は知の宝庫、そこにある情報を経験によって知識とし、知恵を身にまもって卒業して行って欲しい。

鈴木俊博先生から（理科）

退職後、本校勤務3年目になります。今年度は図書研修課に配属されました。授業は主に物理を担当しています。この機会に理系の本だけでなく範囲を広げ名著といわれる本にも挑戦して、本の世界を楽しみたいと思っています。

杉山先生から（国語・水曜日当番）

国語科の杉山です。「言葉は力なり」と言いますが、言葉はどんな時でも人に夢と希望と安らぎを与えてくれます。記念館はそんな言葉たちとの出会いの場です。魅力溢れる言葉たちと素敵な出会いを是非とも重ねてください。

鈴木駿麻先生から（社会・火曜日当番）

こんにちは。新任の鈴木駿麻です。みんなと年が近いので、一緒に熱く、元気よく学校生活を送り、学んでいきたいと思えます。浜松出身なので沼津のことを教えてください。パワフルにがんばろう。

杉浦先生から（理科）

図書館の利点に目当ての本とは全く違うタイプの本に出会うことができるということがある。ふと手に取った本が、すごく面白かったり、難しかったけれど興味が引き立てられたり。ぜひ、図書館に来て、そういう体験をしてほしい。

図書館ではみなさんのリクエストにお答えします！

- ・こんな本が読みたい…希望図書購入を書いて箱に入れてください。
- ・こんな特集をして欲しい…図書課の先生か図書委員または図書館スタッフに気軽に声をかけてください。
- ・どんな本を読めばいいの…いつでも相談に応じます！
- ・なんでも声をかけてくださいね！

4月14日 2021年本屋大賞発表

図書館でミニト作品の貸出ができます。